令和7年度施策評価シート(評価対象年度:令和6年度)

基本政策 【分野】	7. / +>0							
			施策	33_平和・多文化共生	所管部長 取りまとめ所属		活部長 劦働課	
施策の内容	平和な社会を次代へ継承するため、幅広い年代に対する啓発事業を通して、平和の尊さを伝えていきます。 また、外国籍市民等にも暮らしやすいまちづくりを進めるため、多言語での情報提供の充実や市民との交流を促進し、多文化共生のまちづりを推進します。							
めざす姿	いつまでも悲惨な戦争の記憶が継承され、市民一人ひとりが平和の尊さを実感しています。 互いの文化を理解し合い、外国籍市民等との交流が活発に進んでいます。							
重点事業	一元的な外国籍市民等相談窓口設置・運営事 業							
施策構成事業	平和推進	事業費		国際交流	推進事業費			
					評価			
進捗評価	概ね順調		評価の 判断理由	「平和関連事業への参加者数」については、従前の取組に加え、平和ドキュメンタリー関係「伝えたい想いを乗せて〜伊勢原大山地区〜」の視聴回数が増加したことに伴い253人のとなりました。「国際交流事業等への参加者数」は、異文化講座を翌年度に見送ったこと等から参加人数は減少しましたが、動画の公開プラットフォームを変更したことにより視聴巨数が大幅に伸びました。重点事業の取組状況については、相談窓口設置に向けて通訳事業者や入管庁との最終調整を行いましたが、国の外国人受入環境整備交付金の要綱改正や庁内レイアウト変更延期等の要因から、再検討を行うこととなりました。その他施策構成事業については、概ね順調に進捗していると判断します。				
策推進上の課題・ 環境変化	事業を展開	開していくととも <i>(</i> 生生施策において <i>(</i>	- こ、平和ドキュメン は、市内に暮らすタ	/タリー映 国籍住民	と核兵器廃絶の趣旨を広く 像制作事業以外の事業を検 等が10年前の2倍以上(2016 支援を行うことが重要です。	討する必要があります 6年:1,658人、2025年:	•	
 評価の経過	令	和 5 年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度		令和9年度
計画の程地	相	既ね順調	概ね順記					
	継続			施策	賃推進の方向性			
					民参加型の平和事業の企画記令事業の検討を進めます		幅広い世代(特に	
評・今後の施策 推進方針	て、戦争の 多文化共	D記憶を継承し平和 共生施策においてに	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等 <i>に</i>	きるような こ向けた―	民参加型の平和事業の企画 記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実	。 を再検討し、市内で増	加傾向にある外国	国籍市民等の相談
推進方針	て、戦争の 多文化 受けること します。	D記憶を継承し平和 共生施策においてに	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等に 備を行うとともに、	きるような に向けた― 引き続き	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実 成果指標	。 を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進	加傾向にある外目 し、多文化共生σ	国籍市民等の相談
	て、戦争の 多文化 受けること します。	D記憶を継承し平和 共生施策においてに	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等 <i>に</i>	きるような に向けた一 引き続き	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実	。 を再検討し、市内で増	加傾向にある外国	国籍市民等の相談 Dまちづくりを推 R 9
推進方針 成果指標: 指標の定: 平和関連事業への記	て、戦争の 多文化封 受けること します。 名 義 参加人数 的とした事	D記憶を継承し平利 も生施策において に とができる環境整備	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等に 備を行うとともに、 R 5	きるような こ向けた一 引き続き R 実績	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実 成果指標 6 R 7	。 を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8	加傾向にある外国 し、多文化共生 <i>の</i> R 9	国籍市民等の相談 Dまちづくりを推 R 9
推進方針 成果指標で 指標の定す 平和関連事業への部 和意識の啓発を目標での参加者	て、戦争の 多文化を します。 名 義 参加人数 的とした事 首数 の参加者数 や国際交流	D記憶を継承し平利 共生施策において とができる環境整例 現状値 898人	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等に 前を行うとともに、 R 5 実績値	きるような こ向けた一 引き続き R 実績	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実 成果指標 6 R 7 実績値	。 を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8	加傾向にある外国 し、多文化共生 <i>の</i> R 9	国籍市民等の相談)まちづくりを推 R9 目標値(方向性
推進方針 成果指標 指標の定 平和関連事業への 和意識の啓発を目に 業への参加者 国際交流事業等への 文化共生推進事業 活動への参加 和や国際交流に関 民の割合 民意識調査で「ある	て、戦争の 多文化される 受けます。 名 養 参加人数 的者数 の を 対 を 対 を 対 を も が も る る う る う る う る う る う る う る う ら ら ら ら ら	D記憶を継承し平利 共生施策において とができる環境整備 現状値 898人 (R3)	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等/ 備を行うとともに、 R 5 実績値 1,010人	きるような に向けた一 引き続き R 実 1,26	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実 成果指標 6 R7 責値 実績値	。 を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8	加傾向にある外国 し、多文化共生 <i>の</i> R 9	国籍市民等の相談)まちづくりを推 R 9 目標値(方向性) 1,300人
推進方針 成果指標 指標の定 平和関連事業への 業への参加者 国際交流事業等への 文化共生推進事業 活動への参加 れた戦略で発を目に 業への参加 大化共生推進事業 活動への参加 れや国際交流に関 民の割合 民意識調査で「ある いえばある」と回答 合	て、多けます。 名義 参加人数 的者数 か者数 心がある市 か言じた人の割	D記憶を継承し平利 共生施策においてい とができる環境整例 現状値 898人 (R3) 69人 (R3) 57.6% (R4)	和の尊さが実感でき は、外国籍市民等/ 備を行うとともに、 R 5 実績値 1,010人 64人	きるような に向けた一 引き続き R 実 1,26	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実 成果指標 6 R7 責値 実績値 53人	。 を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8	加傾向にある外国 し、多文化共生 <i>の</i> R 9	国籍市民等の相談)まちづくりを推 R 9 目標値(方向性) 1,300人
推進方針 成果指標 指標の定 平和関連事業への 和意識の啓発を目に 業への参加者 国際交流事業等への 文化共生推進事業 和や国際交流に関 民の割合 民意識調査で「ある いえばある」と回答合	て、	P記憶を継承し平利 共生施策においてい とができる環境整例 現状値 898人 (R3) 69人 (R3) 57.6% (R4)	和の尊さが実感できます。 は、外国籍市民等に 帯を行うとともに、 R5 実績値 1,010人 64人	きるような に向けた一 引き続き R 実 1,26 78	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実 成果指標 6 R7 素値 実績値 53人 7人 3%	を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8 実績値	加傾向にある外国 し、多文化共生の R9 実績値	国籍市民等の相談)まちづくりを推 R 9 目標値(方向性) 1,300人
推進方針 成果指標 指標の定 平和関連事業への 業への参加者 国際交流事業等への 文化共生推進事業 活動への参加 れた戦略で発を目に 業への参加 大化共生推進事業 活動への参加 れや国際交流に関 民の割合 民意識調査で「ある いえばある」と回答 合	て、戦争の 多けます。 名義 参的数 の を か者 か か者 か か る す う り は ま う り る り も う り る う ら り る う ら り ら り の り う り り し う り り り り り り り り り り り り り り	D記憶を継承し平利 共生施策においてい とができる環境整例 現状値 898人 (R3) 69人 (R3) 57.6% (R4)	和の尊さが実感できます。 は、外国籍市民等に 帯を行うとともに、 R5 実績値 1,010人 64人	きるような に向けた一 引き続き R 実 1,26 78	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実・ 成果指標 6 R7 素値 R3 素値 33人 7人 3% 事業の取組内容 、日常生活における相談を	を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8 実績値	加傾向にある外国 し、多文化共生の R9 実績値	国籍市民等の相談)まちづくりを推 R 9 目標値(方向性) 1,300人
推進方針 成果指標の定 平和関連事業へのき 和意識の啓発を目に 業への参加者 国際交流事業等への 文化共生推進事業 和や国際交流に関 民の割合 民意識調査で「ある いえばある」と回答合	て、 戦争の の	の記憶を継承し平利 共生施策においてい とができる環境整例 現状値 898人 (R3) 69人 (R3) 57.6% (R4)	和の尊さが実感できます。 は、外国籍市民等に 帯を行うとともに、 R5 実績値 1,010人 64人	きるような こ向けた一 引き続き R 実料 1,26 78	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実・ 成果指標 6 R7 素値 R3 素値 33人 7人 3% 事業の取組内容 、日常生活における相談を	を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8 実績値	加傾向にある外国 し、多文化共生の R9 実績値	国籍市民等の相談)まちづくりを推 R 9 目標値(方向性) 1,300人
成果指標・ 指標の定。 平和関連事業への記 業への参加者 事業への参加を発を目 業への参加を発を目 業への参加を る文化共生推進事業 活動への参加・ 和や国際交流に関 民意識調査で「あるいえばある」と回答 事業名 事業内容	て、 製争の が ま を か	D記憶を継承し平利 共生施策においてい とができる環境整例 現状値 898人 (R3) 69人 (R3) 57.6% (R4)	和の尊さが実感できます。 は、外国籍市民等に 帯を行うとともに、 R5 実績値 1,010人 64人	きるような一 引き続き R 実 1,26 78 51.	記念事業の検討を進めます。 元的相談窓口の機能や規模 多言語での情報提供の充実・ 成果指標 6 R7 素値 実績値 33人 7人 3% 事業の取組内容 、日常生活における相談を会	を再検討し、市内で増 や市民との交流を促進 R8 実績値 受け付ける一元的窓口 IG年度	加傾向にある外目 し、多文化共生の R9 実績値 を設置します。	国籍市民等の相談 のまちづくりを推 R 9 目標値(方向性) 1,300人

重点事業以外の取組内容

令和6年度 主な取組内容

- ●中学生平和作文、ヒロシマ平和の旅、平和を祈念するパネル展示及び平和ドキュメンタリー映像制作等を通じて、市民の平和に対する意識 の醸成を図りました。
- ●日本語ボランティア教室の開催や日本語ボランティア教室への支援、協働事業による海外にルーツを持つ子どもたちへの学習支援等を通じて、外国籍市民等が安心して日常生活を送ることができる環境整備に努めました。